50th Anniversary
稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和 38 年（1963 年）12 月 6 日　会長：岡田義夫／副会長：三輪卓生
例会日：毎週水曜日　12：30～13：30　幹事：永井伸治／編集：広報会報委員会
例会場：尾張大國霊神社（国府宮）　E-mail　rcinazawa@gmail.com
稲沢市国府宮一丁目１番１号　URL　http://www.inazawa-rc.org/
事務所：〒492-8213　稲沢市高御堂 1-2-1（林商事ビル１階）
電　話：0587-24-0740　FAX：0587-22-7213　事務局携帯電話　090-4853-5262

2013-2014 ＲＩ会長
ロンＤ・バートン

ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を

稲沢 RC2013～2014 年度会長方針
社会を光り輝かせる人となろう！

本日の例会プログラム　第 2457 回例会　1 月 25 日（土）
例会場：ウェスティンナゴヤキャスル　第２８回３クラブ合同新年例会（ﾎｽﾄｸﾗﾌﾞ稲沢 RC）
2014-15 年度準備理事会 16：00～

第 2456 回例会報告 1 月 22 日(水) 晴れ No.27

☆点　鐘☆	会長　岡田義夫
☆司　会☆	会場副委員長　眞下啓二
☆唱　和☆	それでこそロータリー
☆ビジター☆	
☆会長挨拶☆	会長　岡田義夫

本日の例会は若宮八幡社宮司副野　均様を講師にお迎えして卓話を頂戴します。若宮八幡社と言えば、思い浮かぶのは名古屋の象徴 100 メーター道路です。通りの名を若宮通りと言い名古屋市民のみならず、私たちにも馴染みの深い名前です。宮司様の卓話を楽しみに致しております。

さて、ソチの冬季五輪が２月７日から開催されます。東京五輪でオリンピックムードが高まる中、日を追って注目度が増して来ました。各種目のアスリートが念願のオリンピック出場を果たし、最高の結果を目指して熱戦が繰り広げられます。そんな中で、今回から五輪正式種目となった女子ジャンプ競技に一際注目が集まっています。皆さんご存知の、女子ジャンプ高梨沙羅選手です。小柄な体で、ひょうひょうとした雰囲気が本当に可愛い 17 歳の少女です。その実力はご覧の通りで、今更申し上げる事もないとおもいますが、先日テレビのインタビューでの事、沙羅ちゃんにジャンプの時はどんな気持ちて飛んいるの？との質問に沙羅ちゃんは『私のジャンプ見て～』と心の中で叫んで踏切りのタイミングをとっていると答えていました。印象的でした。見ていて楽しい気持ちになるはずです。今回の五輪には沙羅ちゃん、真央ちゃんはじめ沢山の女性アスリートが出場します。男女年齢問わず、出場全選手に悔いのない結果を残して欲しいと願っております。一部では、オリンピックを揶揄するような発言も聞き及びますが、若者の努力する姿を見た時、そんな言葉は、単なる老害と片付けてしまった方がスマートかと思いました。

この例会を最後に３月５日まで国府宮さんでの例会はございません、日程をご確認の上それぞれの例会場へお運び頂きたいと思います。又、今週土曜日には 3 クラブ合同の新年例会がウェスティンナゴヤキャッスルで開催されます。稲沢がホストを努めます、万障繰り上げてが参加願います。最後に、インフルエンザが本格的に流行の兆しを見せています、手洗い、うがい、マスク着用に心掛けこの冬を乗り切ってください。

★出席報告★　報告者：会員組織委員長　小島洋一

会員総数	55 名	前々回修正	1 月　8 日
出席会員数	44 名（内免除者　9　名）	出席会員数	44 名（内免除者　10　名）
欠席者数	11 名（内免除者　6　名）	ﾒｰｸｱｯﾌﾟ数	2 名
出席率	89.80 ％	修正出席率	92.00 ％

☆ 例 会 臨 時 変 更 通 知 ☆

クラブ名	月/日(曜日)時間	メークアップ会場
名古屋丸の内	2/20(木)12：30	名古屋ｸﾚｽﾄﾝﾎﾃﾙ
一宮北	2/21(金)12：30	一宮商工会議所
津島	2/21(金)12：30	ﾂｼﾏｳｰﾙ会館
名古屋東	2/24(月)12：30	ｳｪｽﾃｨﾝﾅｺﾞﾔｷｬｯｽﾙ

今週のメークアップ	後藤啓行（B.D）矢野慎史（名古屋東）

☆ 例 会 日 程 ☆

1 月 29 日(水)	2 月 5 日(水)12：30	2 月 12 日（水）	2 月 14 日(金)18：00
例会日変更（1/25（土）へ振替）	例会場：稲沢産業会館（商工会議所） 幸福例会・会員表彰・理事会	例会日変更（2/14（金）へ振替）	夜間例会　点鐘 18：00 場所：むさし乃

～Today’s Information～ ◆◆報告事項◆◆

◇◇幹 事 報 告◇◇ 報告者：幹事 永井伸治

◆２月１４日（金）の夜間例会は送迎バスがでます。
17：30 国府宮神社駐車場　　17：40 名鉄国府宮駅
点鐘：18：00　　場所：むさし乃

◆２月の IAC 例会は行事の為２月６日（木）17：00 です。

◇ ◇ ニ コ ボ ッ ク ス 報 告 ◇ ◇

報告者：ニコボックス副委員長　鵜飼博信

山脇　卓話に副野宮司さんをお迎えする喜び

永井　卓話ｽﾋﾟｰｶｰに若宮八幡社宮司副野均様をお迎えした喜び

大野　はだか祭の生中継が約 100 万世帯に配信されます。ご案内をお配りさせていただきました

(ﾆｺﾎﾞｯｸｽ委員長より：多額に頂きありがとうございました)

山脇　皆さんのお蔭を頂いて儺追殿が竣工致します。感謝。

永井　新儺追殿の竣工を祝して内覧をお許し頂いた国府宮に感謝！！

山田(典)　いよいよ裸祭です。儺追殿も新しくなり心機一転がんばります

三輪　山脇さん、大変お世話になりました。心が清められました

西村　永井さんにお世話になりました

樋田(ﾄｲﾀﾞ)　池田さんにお世話になりました。ありがとうございました。

酒井　西村御夫妻に大変お世話になりました。ありがとうございました

山田(典)　業務多忙

◇◇卓 話 ： 若 宮 八 幡 社 宮 司　副 野 均 様◇◇

テ ー マ 「 塀 の 中 の 神 道 」

「名刑の現況」

平成 25 年の１月１日現在の名古屋刑務 所に受刑者収容現況表、罪名、窃盗・覚せい剤・強盗・詐欺・強姦・殺人・恐喝・暴行・暴力行為・麻薬・住居侵入…罪名が書いてあるのですが、33％が窃盗、薬・覚せい剤が 31％。執行刑期の平均は３年３か月。入所度数の平均は 4.4 入。一人平均 4.4 回出たり入ったりということです。最高 32 入。年齢の平均は 36.8 歳。最高 84 歳。暴力団組員関係がだいたい 48％、一切関係ないのが 52％。半分が組長・幹部・元関係者。外国の数が 22 か国。今 現在収容されているのがちょうど 2200 人で内 199 が外人で１割弱です。そして外国人の御三家というものがあり、ﾌﾞﾗｼﾞﾙ・ｲﾗﾝ・中国だけで 70％超えています。そんな中で教誨活動をやっているのですが、少し前までは１日行くと３時間しゃべっていました。午前中は神主として白衣白袴姿で刑務所長の権限で宗教教誨が許されて、神道・お祭りなんでもＯＫ。ビデオ見ていてもいいし宗教のこともしゃべれます。そしてお昼からは１時間だけですが、１週間以内にここから出ていく釈放前教育というグループと、これから刑期を名古屋刑務所で務めるグループ、もう一つは 28 歳以下で、１か月間の集団訓練を終えると各地の刑務所に行くグループ、その内の２つをちょっと前までしていたのですが、今はほとんど釈前教育、 仮釈放で出ていく人の教育を担当しています。実は当初これに悩みました。宗教教誨はお宮さんのことや神道のことを何とでもいえる。ところが昼からは、宗教教育をしてはいけないことになっている。下手にやると国が宗教教育をしたと捉えられるらしいのです。一般教養か道徳的な話ならＯＫと。半年くらい嫌々やりながらも、教育部長にネタがないと相談しました。すると教育部長が笑い出して、「私らが話しするときは毎回同じ話ですよ」と。簡単に言うと仮釈放で出ていく、満期出所する、１か月後にはメンバーは変わっているが、余裕がないからそれすらも分からない。初めての経験で精一杯だった。だから相手の心に響かない、一方的なものすごく下手な講演、自分のあさはかな知恵をさらけ出すだけ。だけども結局そこで鍛えられて、何とかちょっとでも心に響くものを、涙流すのもいいだろう、笑うのもいいだろう、通じたから笑ってくれる、通じたから涙流してくれる、やっぱりそういうことで気持ちを切り替えて、自分自身の勉強だと思って、続けておるようなことです。

「がばいばあちゃんにあいました。」

昨今、島田洋七さんの一連の本により、がばいばあちゃんが大人気なのは皆さんもご存じでしょう。「笑顔は宝」「節約は天才」「ムダな命はひとつもない」等々、いまの日本人が忘れかけている人生の本質をズバリ突く言葉や、知恵の数々がすばらしい。がばい（佐賀弁ですごいの意）ばあちゃんは島田さん自身の祖母の話しであるが、私もすごいおばあさんだなと感心させられたことがあります。

四・五年前のことです。白衣や玉串の入った紙袋を座席の右側に置き、本を読んでいました。ふと気付くと右隣りに座っていた老婆が、紙袋から顔をのぞかせている榊の葉っぱをやさしく撫でているのです。まもなく優しい笑顔で私をのぞき込み、「緑はいいですね」と言われた。ここまでならよくある話かもしれません。その後、老婆は降りる駅で席を立って行く時、私の方を向いて一礼をされ、「ありがとう」と言葉を添えられ下車されました。急に胸がポッと温かくなったのを覚えています。見ず知らずの老婆の一言でこれ程までに心が温められようとは。

その日の宗教教誨で早速この話をしました。皆んなで青々とした榊の葉っぱをなでたのは言うまでもありません。人生の先輩のさりげない一言、礼儀の正しさをすごいと思いました。あの時のあのおばあさんは、私にとってはがばいばあちゃんでありました。皆さんも時として、身近な人生の先輩の言葉を思い出されてはいかがでしょうか。

「田圃や畑は好きですか？」

五十数年前の農村のくらしや、親族や村人の農作業の姿を直に目にしています。

子供心におじいさん、おばあさんという人は腰が曲がっている人だということをずっと思っていました。食わんが為、食わさんが為の過酷な労働のせいだと理解したのは大人になってからだったかもしれません。

斯様な思いはさておき、数年前、次の文章に出会い衝撃を受けました。

『最近とみに、ぶよぶよした死体が多くなってきた。ナイロンの袋に水を入れたような、青白いぶよぶよ死体である。私が初めて湯灌・納棺の仕事を始めた昭和四十年の初期には、まだ自宅死亡が五割以上もあって、山麓の農家などへ行くと、枯れ枝のような死体によく出会った。肌色の柿の木の枯れ枝のように黒ずんでいた。

そんな遺骸が、暗い奥の仏壇の間に、くの字となって横たわっていた。寝棺に納めるのが大変であった。腰が海老のように曲がったままのため、棺窓から顔が見えるように納めるには、腰を伸ばさないと上向きに寝かせられないのである。膝が出っ張るか頭が出っ張るかで蓋が閉まらない。

子どもの頃から何十年も、田畑にへばり付くように生きてきた証である。農村の老人のほとんどが腰を曲げて歩いていた時代、やはり座棺のほうが適しているように思われる。

特に丸い風呂桶型の棺などは最適であったはずだ。』
青木新門氏著「納棺夫日記」より抜粋

まさしく二十数年前、村の長老で遠縁のおじいさんが亡くなった時の姿でありました。

氏神様に祈っては働き、働いては祈っておられた方でした。「腰を曲げてまで食べ物を作ってくれた。それをいただいて私は活きている」とまで思う昨今です。

感謝しかありません。皆様も機会があれば田圃や畑を眺め、先人の苦労に想いをはせてください。きっと心が温かくなりますよ。

～　儺　追　殿　内　覧　会　～